

WordPress移行マニュアル

MRS旧サービス⇒NXシリーズへの移行手順

[概要] WordPressのサーバ移行について	2
[概要] コンテンツの移行について	3
1-1.DNSのTTLを短く設定する（推奨：切替えの7日以上前）	4
2-1.WordPress移行機能を使う場合	5
・既存データのダウンロード	5
・新サーバへのアップロード	5
3-1.phpMyAdmin・FTPで移行する場合	8
・既存データのダウンロード [FTP]	8
・既存データのダウンロード [phpMyAdmin]	8
・新サーバへのアップロード [FTP]	10
・新サーバへのアップロード [phpMyAdmin]	11
4-1.移行先のデータ確認	15
5-1.DNSの切替え・公開作業	20
・ミライネットでドメイン管理を行っている場合	20
・ミライネット以外でドメイン管理を行っている場合	22
[公開完了後] DNSのTTLを戻します	22

[概要] WordPressのサーバ移行について

このマニュアルは、現在お使いのMRS旧サービスから、NXシリーズへの移行申請を済ませた方用となります。移行申請がお済みでない方は、レンタルサーバ管理画面内から申請を行ってください。

※レンタルサーバ機能、DNS(ドメイン) 以外の部分につきましてはサポート対象外となりますのでご了承ください。

以下の流れでWordPressサーバ移行を行うことができます。

1.DNSのTTLを短く設定する (推奨：切替えの7日以上前)

移行後にDNS（ネームサーバ）を切り替える作業があります。スムーズに移行するための準備として、移行するドメインのDNSのTTL設定を短くしておきます。（60秒推奨）



2.コンテンツ移行 (現在のデータをダウンロード / 新サーバへアップロード)

WordPressでは、2つの種類のデータをダウンロードして新環境にアップロードする必要があります。

【1】FTPで接続してダウンロードできるファイル（画像やphpなど）

【2】phpMyAdminで接続してダウンロードできるファイル（SQL）

※データベースのこと。更新して作成したページ情報等はここに入っています。



3.DNSの切り替え

新しい環境に切り替えていただき、移行完了となります。

TTLを適切な長さに設定してください。（推奨：3600秒）

[概要] コンテンツの移行について

必ずお読みください

- ・ 弊社はレンタルサーバ機能についてのサポートを行います。
- ・ WordPressの使い方、動作等につきましてはサポート対象外となります。
- ・ お客様ご自身の責任において移行作業を行ってください。
- ・ 移行作業の際に発生した不具合、データ欠損につきまして当社は責任を負いかねます。
- ・ 移行作業がご不安な方は、専門業者に依頼をしてください。

WordPressは、主に2種類の情報で動いています。

- ・ **ファイル**：WordPress本体や、画像、PHP等のファイルなど
- ・ **データベース**：更新した記事のテキストやプラグイン設定など

ご利用状況によって、データのエクスポート・インポートの方法が異なります。
該当する方法で移行を行ってください。

◆ブログのみに使用している方 ※プラグインを入れていない、カスタマイズをしていない方 ⇒WordPressの移行機能が使えます

記事とアップロードファイルのみを移行することができます。
テーマやプラグイン、カスタマイズをした部分は移行することができません。ブログとしてのみ利用していて、テーマが変わっても構わない場合はこの方法がおすすめです。

◆カスタマイズ、プラグイン等を入れている方 ⇒phpMyAdmin・FTPでの移行となります

カスタマイズ部分や、プラグイン等を含めて、まるごと移行する方法です。
WordPressの機能に頼らずサーバ操作で移行します。ファイルとデータベースを手動でコピーする為、現在のサイトと同じ状態で移行することができます。
一般的にはエンジニアが行う方法となります。

移行前の準備、移行の具体的な手順について、次項からご案内いたします。

1-1.DNSのTTLを短く設定する（推奨：切替えの7日以上前）

移行作業を行う前に、DNSのTTL設定を短くしておきます。この作業を行うことで、スムーズに切り替えを行うことができます。

【1】ドメインセンターにログインします

URL：<https://domaincenter.jp/>

※ドメインセンターへのログイン情報は、NXシリーズ管理画面内の「アカウント設定」からご確認ください。

【2】TTL設定を短くします

ログイン後、【ドメイン名管理】タブを選択します。管理中のドメインが一覧で表示されます。該当のドメイン名をクリックします。以下画面になりますのでTTLを短くしてください。推奨値：60秒

MRSの旧サーバはTTLを24時間に設定しています。サーバ切り替えを行う7日前迄にTTLを60秒に変更してください。公開後には、値を3600秒に戻してください。

TTLを短くしない場合、切替え作業後に新サーバに切り替わるまで、72時間程度かかる場合があります。

2-1.WordPress移行機能を使う場合

・既存データのダウンロード

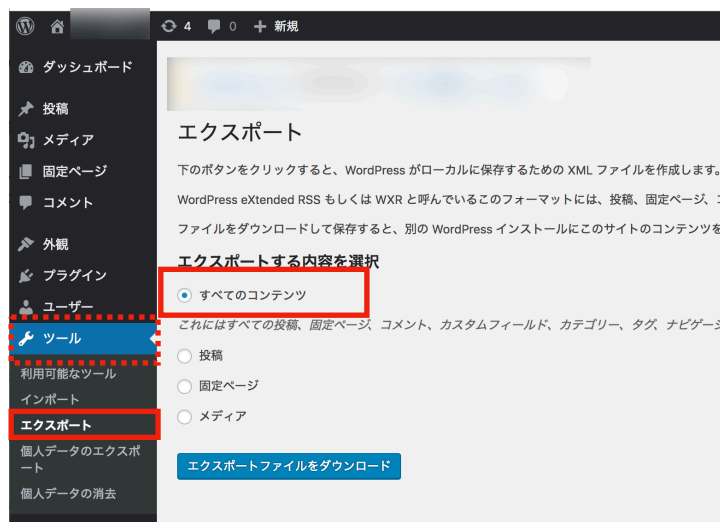
必ずお読みください

- ・弊社はレンタルサーバ機能についてのサポートを行います。
- ・WordPressの使い方、移行方法、動作等につきましては**サポート対象外**となります。

【1】既存のデータをダウンロードします

現在ご利用中のWordPressの管理画面にログインします。左メニュー【ツール】から【エクスポート】を選択します。＊エクスポートとは、ダウンロードのことです。

【すべてのコンテンツ】を選択して【エクスポートファイルをダウンロード】をクリックします。この操作で xml ファイルがダウンロードされます。



・新サーバへのアップロード

【1】新サーバにWordPressをインストールします

新サーバ（NXシリーズ）に、新規にWordPressをインストールします。

ウェブの領域は移行申請をした際に作られておりますので、**FTP接続をするためのアカウント作成**、WordPressを使用するための**データベース作成**を行ってください。

手順につきましては、このマニュアル内の以下ページをご確認ください。

- ・10P：新サーバへのアップロード【FTP】 【1】FTPアカウントを追加します
- ・11P：新サーバへのアップロード【phpMyAdmin】 【1】データベースを追加します

【2】新サーバのWordPressにアップロードします

新サーバにインストールしたWordPressの管理画面にログインします。左メニュー【ツール】から【インポート】を選択します。＊インポートとは、アップロードのことです。

WordPressと書かれた項目の【今すぐインストール】をクリックします。処理が終わると、項目名が【インポーターの実行】となりますので、クリックします。



画面が変わり、WordPressのインポート画面になります。

【ファイルを選択】をクリックし、先程ダウンロードしたxmlファイルを選択します。

【ファイルをアップロードしてインポート】をクリックします。



【3】新サーバのWordPressにアップロードします-2

インポートを実行する前に、記事の設定を変更することができます。必要な場合はご入力ください。



何も変更しなければ移行前と同じユーザー名でユーザーが作成されます。

運用者が1名のみの場合は【あるいは投稿を既存のユーザーに割り当てる】で管理者ユーザーを割り当てることをおすすめします。

【添付ファイルのインポート】にチェックを付けて【実行】をクリックします。

これで新サーバにコンテンツの移行が完了しました。

移行前の確認、公開時のDNS（ネームサーバ）の切替え作業につきましては、このマニュアル内の以下ページをご確認ください。

- ・15P：4-1.移行先のデータ確認
- ・19P：5-1.DNSの切替え・公開作業

3-1.phpMyAdmin・FTPで移行する場合

・既存データのダウンロード [FTP]

【1】FTPからファイルをダウンロードします

現在ご利用中のサーバにFTP接続します。移行したいWordPressの領域を開き、ファイルをすべてダウンロードします。

wp-admin	ディレクト
wp-content	ディレクト
wp-includes	ディレクト
.htaccess	235 ファイル
index.php	418 php-file
license.txt	19,550 txt-file
readme.html	10,303 HTML do
wp-activate.php	6,878 php-file
wp-blog-header.php	364 php-file
wp-comments-post.php	1,889 php-file
wp-config-sample.php	3,793 php-file
wp-config.php	4,088 php-file
wp-cron.php	3,669 php-file
wp-links-opml.php	2,422 php-file
wp-load.php	3,306 php-file
wp-login.php	37,804 php-file
wp-mail.php	8,048 php-file
wp-settings.php	16,246 php-file
wp-signup.php	30,091 php-file
wp-trackback.php	4,620 php-file
xmlrpc.php	3,065 php-file

※画像はFTP接続をした際のイメージです。おおよそ上記のようなファイルがあります。

・既存データのダウンロード [phpMyAdmin]

【1】phpMyAdminにログインします

phpMyAdmin は MySQL データベースの管理画面のことです。
現在ご利用中のphpMyAdminにログインします。

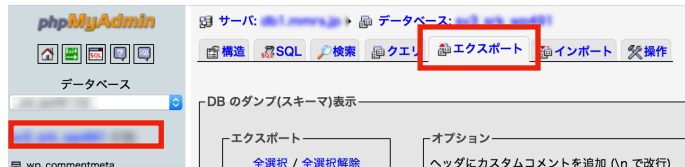


【データベース管理】 から
phpMyAdminのログイン情報を確認できます。

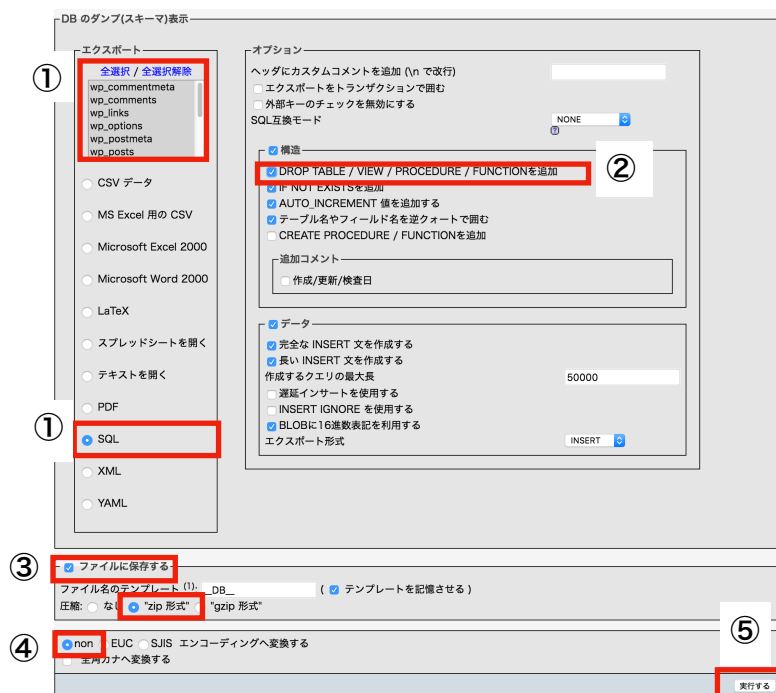
※ここではMySQL (phpMyAdmin) をご利用の場合の手順をご案内しています。PostgreSQLをご利用の方はPostgreSQL一覧をご確認ください。

【2】 phpMyAdminからデータベースをエクスポートします

【左メニュー】にご利用中のデータベース名が表示されますので、該当のデータベース名をクリックします。画面が切り替わりますので【エクスポート】のタブを選択します。



設定画面が表示されます。



①エクスポートしたい内容を選択します。WordPressのみにデータベースを使用している場合は、【全選択】してください。種類は【SQL】です。

※データベースを使用する他のプログラムがある場合は WordPress に関連するテーブルのみを選択します。

②【DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER コマンドを追加する】オプションを選択します。【データ】の項目はデフォルトのまま構いません。

③【ファイルに保存する】にチェックし【zip圧縮】を選択します。*無い場合は【なし】を選択します。

④エンコーディングは【non】を選択します。

⑤【実行する】をクリックすると、データベースがエクスポートされます。

これでデータベースのダウンロードができました。

・新サーバへのアップロード【FTP】

【1】FTPアカウントを追加します

FTP接続のためのアカウント作成を行います。新サーバ（NXシリーズ）の管理画面にログインします。左メニューから【Webサイト管理】ページを開きます。



移行先のURL右側の【操作】⇒Vマークをクリックし詳細を表示します。

URL	PHP	証明書	備考	操作
https://example.com	5.6	MRS自己証明書	移行支援ツールによりインポート	

詳細メニューが表示されましたら【FTP】のタブを選択し【FTPアカウント追加】をクリックします。



URL毎に初期領域のpublic_htmlが用意されています。特に指定のない場合は空欄のまま

【追加】のボタンをクリックします。FTPアカウントが作成されました。

5.6

MRS自己証明書

移行支援ツールによりインポート

基本設定

エイリアス

WEBアクセス制限

エラーページ

FTP

FTPアカウント一覧

接続先	ログインID	パスワード	初期ディレクトリ	操作
.mcnx.jp			/var/www/	

【2】FTPでファイルをアップロードします

新サーバ（NXシリーズ）の情報でFTP接続します。現在ご利用中のサーバからダウンロードしたファイルを、新サーバへすべてアップロードします。

※この際に、FTPソフトの設定でエンコードは**UTF-8**にしてください。

FTPソフトの設定詳細につきましてはサポート対象外となりますので、ご了承ください。

・新サーバへのアップロード [phpMyAdmin]

【1】データベースを追加します

phpMyAdminからデータベースをインポートするためのデータベースを作成します。新サーバ（NXシリーズ）の左メニューから**【データベース管理】**ページを開きます。

MySQL(MariaDB)の枠内**【データベースの追加】**をクリックし詳細を表示します。



特に指定のない場合は空欄のまま**【追加】**のボタンをクリックします。

データベースが作成されました。右下の**【phpMyAdmin】**のリンクを開き、phpMyAdminへログインします。



【2】phpMyAdminからデータベースをインポートします

左メニューに先程作成したデータベース名が表示されますので、該当のデータベース名をクリックします。画面が切り替わりますので【インポート】のタブを選択します。



アップロードファイル【ファイルを選択】から、先程エクスポートしたデータベースを選択します。特に指定がない場合は、デフォルトの状態【実行】をクリックします。

現在のサーバへのインポート

File to import:

ファイルは圧縮されていないもの、もしくは、gzip, bzip2, zip で圧縮されているもの。
A compressed file's name must end in .[format].[compression]. Example: .sql.zip

アップロードファイル: ファイルを選択 選択されていません (最長: 2,048KiB)

You may also drag and drop a file on any page.

ファイルの文字セット: utf-8

Partial import:

☒ Allow the interruption of an import in case the script detects it is close to the PHP timeout limit. (This might be a good way to import large files, however it can break transactions.)

Skip this number of queries (for SQL) starting from the first one: 0

Other options:

☒ 外部キーのチェックを有効にする

フォーマット:

SQL

フォーマット特有のオプション:

SQL 互換モード: NONE

☒ 値がゼロのものに対して AUTO_INCREMENT を使用しない

エンコーディングへの変換:

☒ なし ☐ EUC ☐ SJIS

☐ 全角カナに変換する

実行

コンソール

これでデータベースのアップロードができました。

データベースの移行でよくあるエラーについて

phpMyAdminでの移行の際に、エラーが発生する場合がございます。以下のエラーが発生した場合、エクスポートしたファイル内の文字コードを修正の上、改めてインポートを行って頂くようお願い致します。

エラー内容

Unknown collation: 'utf8mb4_unicode_520_ci'

エクスポートファイル内の以下の記述を修正してください

※エクスポートしたSQLファイルをテキストエディタ等で開いて、文字列置換などを行って修正してください。

(修正前) utf8mb4_unicode_520_ci

(修正後) utf8mb4_unicode_ci

【！ご注意！】Windowsの『メモ帳』は使用不可です。WordPress公式Wikiに記載のあるテキストエディタを使用してください。WordPressが日本語版の場合、UTF-8 BOMなし (または UTF-8N) で保存できるエディタを用いてください。この条件を満たしたエディターで編集をしても、エラーになる場合があります。以下公式Wikiご確認の上「問題なく使えるテキストエディタの例」に記載のあるエディタをご利用ください。

例) Windowsの場合：TeraPad、サクラエディタ、Meryなど

Mac OSの場合：mi、TextEdit (OS 付属) など

WordPress公式Wiki (用語集内、WordPress で用いるテキストエディタの項目)

https://wpdocs.osdn.jp/%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86#WordPress_.E3.81.A7.E7.94.A8.E3.81.84.E3.82.8B.E3.83.86.E3.82.AD.E3.82.B9.E3.83.88.E3.82.A8.E3.83.87.E3.82.A3.E3.82.BF

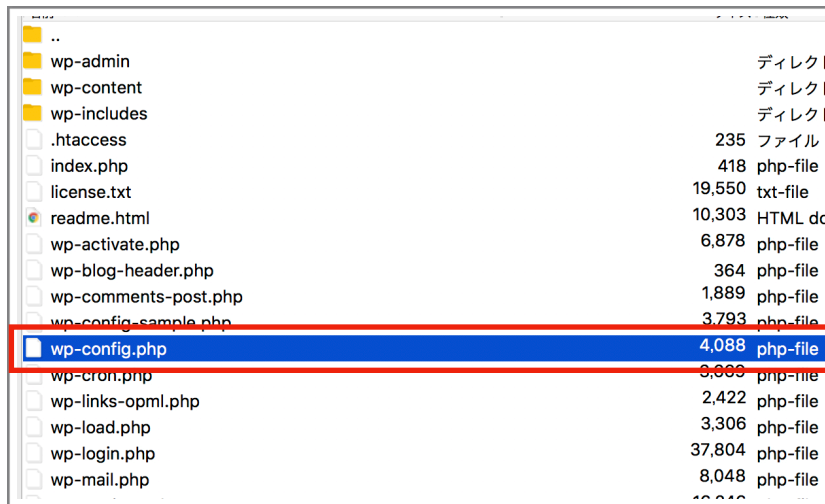


この他のエラーが発生した場合は、お手数ですがミライネットまでお問い合わせください。

【3】WordPressのPHPファイルを書き換えます

FTP接続してアップロードをしたファイルの中に、**データベースに接続するための設定**が記載されているPHPがあります。現在はまだ旧サービスの情報になっている為、新サーバ（NXシリーズ）のデータベース情報に書き換えます。

新サーバの情報でFTP接続します。[wp-config.php]を開きます。



このファイルの中に、以下の表記があります。この部分を、新サーバのデータベース情報に書き換えてください。ホスト名は **[localhost]** と記載してください。

【！ご注意ください！】 Windows の "メモ帳" でこのファイルを編集しないでください。

wp-config.phpのファイル内上部にも公式の案内文がありますが、
問題なく使えるテキストエディタを使用し、 **必ず UTF-8 の BOM なし (UTF-8N)** で保存してください。

```
// ** MySQL 設定 - この情報はホスティング先から入手してください。 ** //
/** WordPress のためのデータベース名 */
define('DB_NAME', ' ');

/** MySQL データベースのユーザー名 */
define('DB_USER', ' ');

/** MySQL データベースのパスワード */
define('DB_PASSWORD', ' ');

/** MySQL のホスト名 */
define('DB_HOST', 'localhost');

/** データベースのテーブルを作成する際のデータベースの文字セット */
define('DB_CHARSET', 'utf8');

/** データベースの照合順序（ほとんどの場合変更する必要はありません） */
define('DB_COLLATE', '');
```

このファイルを保存することで、新サーバのデータベースに接続されるようになりました。

4-1.移行先のデータ確認

この段階では、データベースに接続はされているもののDNS（ネームサーバ）は現在のサーバに向いている為、ウェブサイトの確認ができません。そこで、**hostsファイル**を書き換えることで移行先の状況を確認することができます。

（補足）

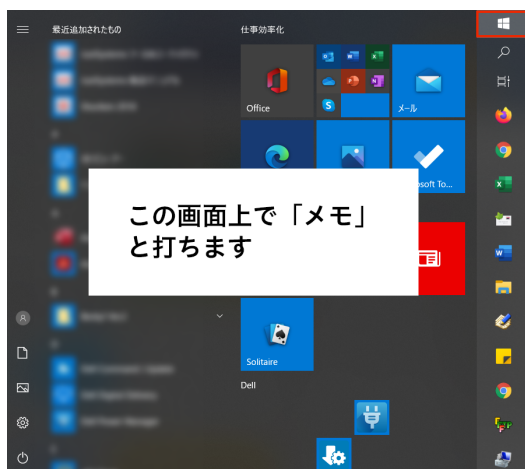
NXシリーズの機能として、1つの領域を別のURLで表示できる「エイリアス」という機能がありますが、WordPressはデータベースの中にドメイン情報をいくつか持つため、データベース内の複数項目の書き換えが発生いたします。そのためhostsファイルを使用した手順をご案内いたします。

hostsファイルの編集方法

Windowsの場合 ※Windows10を例にご案内します

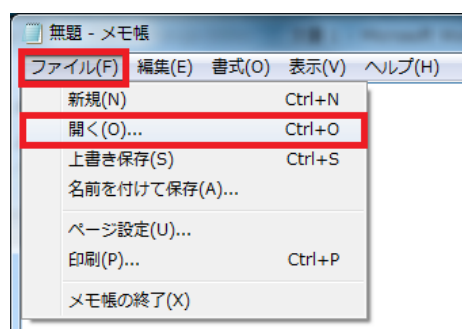
【1】メモ帳などのテキストエディタを開きます

スタートメニュー（画像の赤色で囲っているマーク） → この画面上で「メモ」と打ち込むと、メモ帳が開きます。



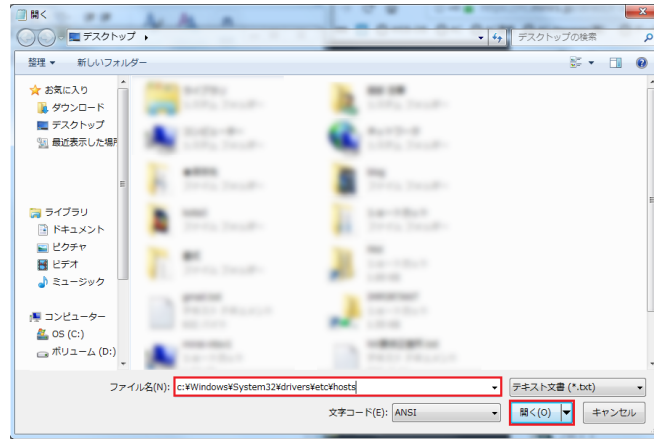
「管理者として実行」をクリックします。

【2】メモ帳が起動したら、上メニューの【ファイル】 → 【開く】を選択します



【3】ファイル名の箇所に【c:¥Windows¥System32¥drivers¥etc¥hosts】を入力し、 【開く】をクリックします

セキュリティがかかっている場合は、【プロパティ】→【セキュリティ】→【編集】→【Users】→【フルコントロール】からセキュリティを解除してください。

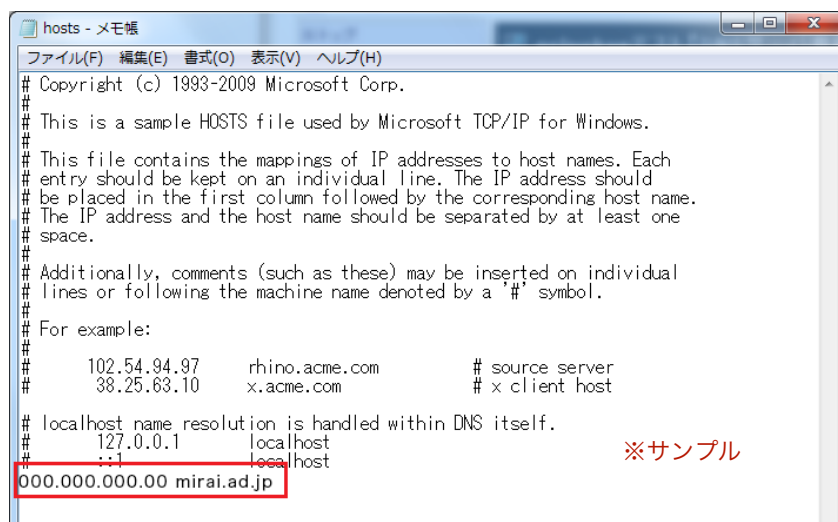


【4】hostsファイルを編集・保存します

Hostsファイルを開いた後、最下部に新しい行を追加し、一番下の行にご利用の

MRS NXのサーバIPアドレスと、移行するWordPressのドメインを記載し上書き保存してください。

▼サーバーIPアドレス + (半角スペース) + ご利用ドメイン名（もしくはサブドメイン）を記載する



※IPアドレスとドメインの間は必ず半角スペースを入れてください。

※サーバーIPアドレスは、NX管理画面内のトップページ【サーバ基本情報】の項目でご確認いただけます。

※「http://」の記載は不要です。

【4】ウェブサイトの表示を確認してください

設定したサイトにアクセスし、表示を確認してください。設定をしたPCからのみ、MRS NXにアップロードしたサイトデータにアクセスすることが可能になります。

【重要】

hostsファイルの編集はネームサーバ変更前の一時的な動作確認方法です。

確認と移転作業の終了後は必ず追記した項目を削除し、元の設定に戻してください。

【ブラウザのエラーが出る場合】

hostsを書いてウェブサイトを確認する際に、一部のブラウザでSSL証明書エラーが出る場合があります。その場合は、別の種類のブラウザでご確認ください。

Macの場合 ※MacOS HighSierraを例にご案内します

【1】 hostsファイルがあるフォルダを開きます

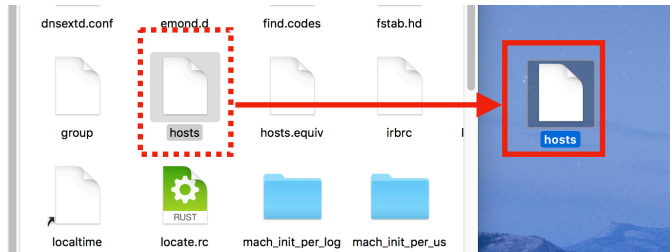
Finderのメニューバー→【移動】→【フォルダへ移動】をクリック。そこで【/private/etc】と入力するとhostsファイルがあるフォルダが開きます。



【2】hostsファイルをコピーして編集します

デスクトップなどにファイルをコピーする。念の為、もうひとつコピーします。

※バックアップ用。このあと上書きするときに、1つめのファイルは消えてしまう為。

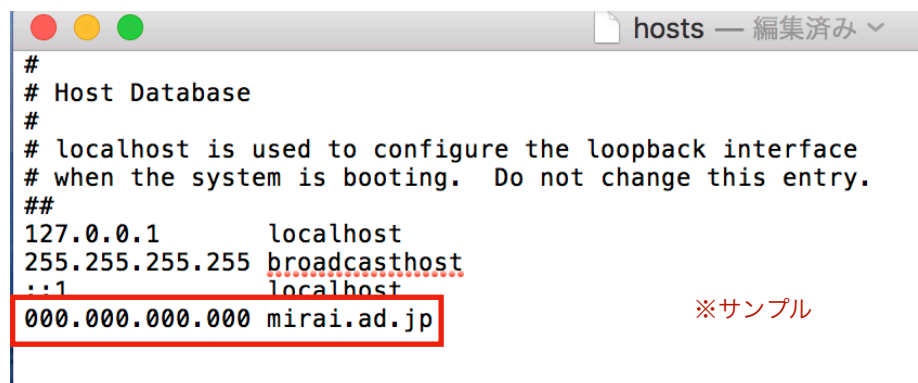


【3】hostsファイルをコピーして編集します

コピーした方のファイルをテキストエディット（mac標準のテキストエディタ）で開きます。ダブルクリックすると通常このエディタで開きます。

一番下にMRS NXのサーバIPアドレスと、移行するWordPressのドメインを記載し保存してください。

▼サーバIPアドレス + (半角スペース) + ご利用ドメイン名（もしくはサブドメイン）を記載する



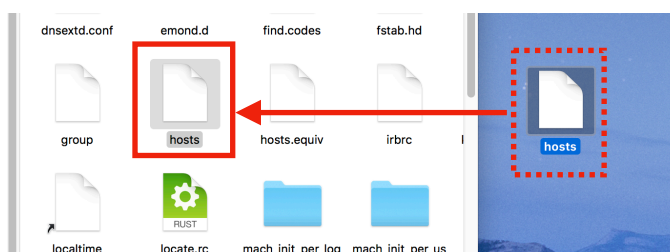
※IPアドレスとドメインの間は必ず半角スペースを入れてください。

※サーバIPアドレスは、NX管理画面内からご確認ください。

※「http://」の記載は不要です。

【4】hostsファイルを上書きします

コピーしたhostsファイルを、元のフォルダにドラッグ&ドロップして上書きします。



【5】ウェブサイトの表示を確認してください

設定したサイトにアクセスし、表示を確認してください。設定をしたPCからのみ、MRS NXにアップロードしたサイトデータにアクセスすることが可能になります。

【重要】

hostsファイルの編集はネームサーバ変更前の一時的な動作確認方法です。

確認と移転作業の終了後は必ず追記した項目を削除し、元の設定に戻してください。

【ブラウザのエラーが出る場合】

hostsを書いてウェブサイトを確認する際に、一部のブラウザでSSL証明書エラーが出る場合があります。その場合は、別の種類のブラウザでご確認ください。

5-1.DNSの切替え・公開作業

この状態では、旧サービスにネームサーバが向いている為、新サーバ（NXシリーズ）のデータを表示するためにDNS（ネームサーバ）を切り替える必要があります。この作業を行うことで、移行先のウェブサイトを開示することができます。

ご注意ください

移行するドメインでメールアドレスをご利用中の方は、切替えを行うとメールアドレスも新サーバを利用することになります。ウェブとメールを別々のタイミングで切り替えることも可能ですので、タイミングを考慮の上切り替えを行ってください。メールの設定につきましては、以下URL内に掲載されている【ミライレンタルサーバ移行手順書】をご確認ください。

・MRS（旧サービス）からNXシリーズへ移行される方へ

<http://support.mirai.ad.jp/dl/mrs>

・ミライネットでドメイン管理を行っている場合

【1】DNS（ネームサーバ）を変更します

新サーバ（NXシリーズ）の管理画面、左メニューから【ドメイン管理】を開きます。



移行先のURL右側の【操作】⇒Vマークをクリックし詳細を表示します。【NS確認】タブを選択し【WHOIS確認】をクリックします。

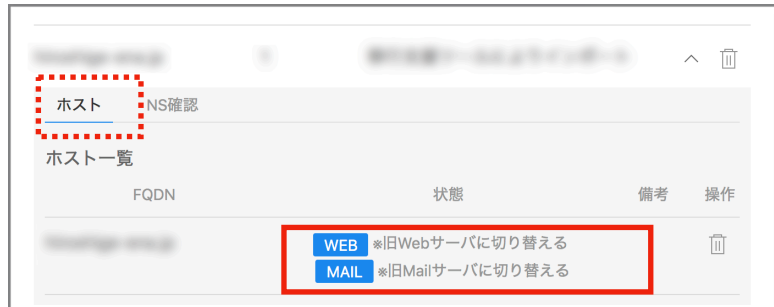


移行できる場合は、以下のように新サーバのネームサーバが入った状態となっています。

【NS切り替え】をクリックしDNS切替えを行います。



メールとウェブを別々のタイミングで切り替えたい場合は、【ホスト】のタブを選択し操作を行ってください。



WEB：実行すると該当の独自ドメインのAレコードが旧サービスのIPアドレスに変更され、旧サーバ内のコンテンツが表示されるようになります。

MAIL：実行すると該当の独自ドメインのMXレコード、TXTレコード(SPF)が旧サービスのものに変更され、旧サーバの方にメールが届くようになります。

WEBとMAILの切替を別の日に行いたい場合のみご利用ください。

※旧 MRS の無料ドメイン(例：***.acs*.mmrs.jp、***.pvsa.mmrs.jp)を MRS-NX でも引き続き使用される場合は、お客様側で変更していただくことができません。

ミライネットにてお客様ごとに手動で切り替え作業を行わせていただきますので、メールで下記内容をもってご依頼ください。切り替え希望日の3日前までにご連絡をお願いいたします。

依頼先メールアドレス	mrs@mirai.ad.jp		
メールの件名	無料ドメイン切替依頼		
本文	契約者名		
	連絡先メールアドレス		
	MRS-NX のログインID	u で始まる ID を記入してください。	
	該当の無料ドメイン	例：***.acs*.mmrs.jp 例：***.pvsa.mmrs.jp	
	作業希望日時 年 月 日 時	平日 10:00～12:00/13:00～17:00 の間で指定してください。	

※ネームサーバ情報を変更した後、DNS 情報が他の DNS サーバに行き渡るまでには、数日から1週間程度必要となります。また、TTL設定を切替えの3日以上前に60秒に設定している場合は、切替え後、おおよそ60秒で切り替えすることができません。弊社はこれを保証するものではございませんが、目安としてお考えください。

・ミライネット以外でドメイン管理を行っている場合

【1】DNS（ネームサーバ）を変更してください

ドメインの管理をされている会社のコントロールパネル上での操作か、管理会社へ下記情報への変更をご依頼いただく必要があります。

【ネームサーバ1】 ns1.mcnx.jp [210.172.222.213]

【ネームサーバ2】 ns2.mcnx.jp [210.172.218.182]

【公開完了後】DNSのTTLを戻します

4P目【1-1.DNSのTTLを短く設定する】で60秒にしたTTL値を、3600秒に戻してください。

移行手順は以上です。

未来工業グループ
株式会社ミライコミュニケーションネットワーク

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-12 ソフトピアジャパン内
TEL 0584-78-7810 FAX 0584-82-3250 届出番号(電気通信事業者): 第C-13-936号
<https://www.mirai.ad.jp> support@mirai.ad.jp

お問い合わせは 10:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日祝日・年末年始を除く)

 0120-301-279